

2021年度 WAVOC支援ボランティア団体 紹介冊子



WAVOC

早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター



WAVOCへようこそ！

WAVOCはWAseda Volunteer Center の略で、正式名称は「早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター」です。

WAVOCは、主にボランティア活動に従事する**ボランティアプロジェクト・サークル**の支援や単位参入されるボランティア関連の**科目の展開**、短期間でボランティアを体験できる**スタディツアー**、チャリティイベントやボランティアに従事する学生をつなぐ**イベント**を多数開催しています。

本冊子では早稲田大学で活動する多種多様なボランティアプロジェクト・サークルを紹介します。いずれもWAVOCのガイドブックやウェブサイトに掲載されていますので是非チェックしてみてください。

<https://www.waseda.jp/inst/wavoc/>



活動の場所(国内・海外等)、団体の規模、活動内容など、気になる団体があれば積極的に連絡をとってみてください。

それが、あなたの大学生活を変える第一歩になるかもしれません。

WAVOCが開催する**イベント・スタディツアー**情報は**メールニュース**で配信、または**ツイッター**に投稿されます。



 @waseda_univ_WAV



目次

ページ	ボランティア団体名称	区分
P. 2	狩り部	早稲田ボランティアプロジェクト
	災害ボランティア研究会	
P. 3	パラリンピック・リーダープロジェクト	学生部公認サークル
	青空子ども会Ⅱ	
P. 4	アトム通貨実行委員会 新宿支部早稲田高田馬場エリア	
	思惟の森の会	
P. 5	チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～	
	DOORS一日越交流プロジェクト	
P. 6	ボランティアサークル 積木の会	
	まつだい早稲田じよんのびクラブ	
P. 7	ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～	
	早稲田大学 学生NPO 農楽塾	
P. 8	早稲田大学 学生環境NPO 環境ロドリゲス	
	早稲田大学気仙沼チーム	
P. 9	早稲田大学広域BBS会	
	早稲田大学POST	
P. 10	WHABITAT	学生部登録サークル
	海士ブータンプロジェクト	
P. 11	いぐべおぐに	
	ISHINOMAKIの朝日プロジェクト	
P. 12	いすみっこ千葉@早稲田	
	spw	
P. 13	NPO法人日本教育再興連盟 (ROJE) 学校ボランティアプロジェクト	
	NPO法人日本教育再興連盟 (ROJE) 先生のための教育事典EDUPEDIA	
P. 14	NPO法人日本教育再興連盟 (ROJE) つぼみプロジェクト	
	学習支援STEP UP!	
P. 15	学生NGO EST	
	学生応援村	
P. 16	助走の場・雲	
	難民交流プロジェクト	
P. 17	BAM部	
	無国籍ネットワークユース	
P. 18	早稲田大学 似島ワークキャンプ	
	早稲田農業サークルこだま	

| 狩り部 |

| 千葉県鴨川 |



私たち「狩り部」は「獣害」という地方での深刻な問題の対策のお手伝いをするボランティアサークルです。月に一回程度、千葉県の鴨川などに赴き、猟師さんのお手伝いや獣害対策の仕事などを行っています。現地では自分たちで捌いた「ジビエ」を食べることもできます！他にも猟師さんからいただいた肉でジビエ料理会を開いたり、プロの猟師さんからお話をいただいたりしています。昨年からは獣害対策ロボットを自分たちで作るプロジェクトも開始しました。狩り部でしかできない体験、してみませんか？

◆Episode :

「獣害問題」や「里山の過疎化」という言葉は多くの方が知っていると思います。私もニュースで耳にして知った気になっていました。しかし、初めて現地活動をした際に見た広大な耕作放棄地、放置され骨が見えるまで飢えた家畜に衝撃を受けました。如何に自分の視野が狭く、表面上の知識だけで片付けていたことを痛感しました。だからこそ、ここで終わらせてはいけません。私たちは狩猟経験者ではなく、学生だからこそできることが沢山あります。各々が持つ個性を最大限に活かせる環境が狩り部にはあると考えています。

代表者	名前：堀内 大地 所属：早稲田大学 社会科学部3年
カテゴリ	環境・狩猟・獣害問題
問合せ先	wasedakaribu@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://www.waseda.jp/inst/wavoc/news/2017/03/27/2548/ Facebook: 早稲田大学ボランティアプロジェクト狩り部(@wasedakaribu) Twitter: 狩り部@早稲田大学ボランティアプロジェクト(@wasedakaribu) Instagram: 早稲田大学狩り部(@wasedakaribu) Blog: https://wasedakaribu.wixsite.com/homepage
メンバー数	19人
参加費用	年会費2000円 現地活動費5000円
活動時期・頻度	週1回のミーティング、2ヶ月に1回を目安に現地活動
年間活動	4~6月 新入生歓迎会兼勉強会、8月 夏休み現地活動、9月~10月 早稲田祭に向けた製作、12月 冬休み現地活動、2月~3月 春休み現地活動 *試験前、長期休みを除き基本的に週1回ミーティング

| 災害ボランティア研究会 |

| キャンパスの近隣地域や被災地 |

子どもたちの防災リテラシーを高めるための教育活動に参加してみませんか？

このプロジェクトでは、より良い災害ボランティアのあり方について考え、それをもとにキャンパスの近隣や被災地で実践的な活動を行います。

この活動では、地域社会や、行政機関、研究機関など、様々な分野との連携を大切にしています。そのため、児童館や、高齢者のボランティア団体、自治体の職員、早稲田大学外の研究者など様々な人々と協力しながら活動を行います。

「研究者コミュニティに入りたい」

「地域の子どもと交流したい」

「高齢者の知恵を後世に残したい」

このような様々な思いを「防災ボランティア」をキーワードに、みんなで協力して実現していきましょう！

代表者	名前：佐々木 俊介
カテゴリ	災害ボランティア
問合せ先	susuke@aoni.waseda.jp
メンバー数	10~15人
参加費用	無料
活動時期・頻度	1) 防災ボランティアの方法についての研究：週1回（オンラインでの参加も可能） 2) 『防災絵本』の製作と読み聞かせ：月1回（読み聞かせを行う学生のみ参加） 3) 被災地でのボランティア活動の後方支援：災害発生時（交代制で毎日実施） この中でも、地域での社会貢献活動として、特に2に力を入れて活動を行います。とはいえ、もちろん、1や3のみでの参加も歓迎します。

| パラリンピック・リーダープロジェクト (通称: パラプロ) |

| 早稲田キャンパス、ZOOMミーティング |



私たちパラプロは、東京パラリンピックを見据え、障がいとともに生きる人々のスポーツ支援を行っています。活動理念は「凸凹があたりまえの空間に」です。スポーツを通じて、一人一人が溶け込める温かい空間を生み出す方法を考え実践しています。毎週のミーティングでは、活動内容の決定、実践したボランティアの報告などを行っています。長期休暇には、実際にパラアスリートと交流し、体験から得た気付きを言語化しメンバーと共有します。他にもメンバーみんなでパラスポーツを観戦したり遊びに行ったりと、仲の良いのもパラプロの魅力です。

◆Episode :

「障がい」がある人ってどんな人だろう？私にどんなお手伝いができるんだろう？私はパラプロで活動する前、こんなことを考えていた。しかし、実際に障がい当事者に出会って、対話して、スポーツをして気付いたことがある。あの人は、スポーツが苦手な私より、走るのが速い。この人は、大阪人の私より、話が面白い。私より「かわいそう」な人じゃなかった。みんな違って当たり前だと言われているが、今の社会では、その違いが「障がい」だと大きな隔たりに感じられてしまう。人間はだれでも得意(凸)不得意(凹)が同じようにあるだけなのに、どうしてだろう。私は、そんな凸凹があたりまえに存在し、心地のいい場所を作りたい。

代表者	名前：大野 日菜子 所属：早稲田大学 商学部 3年
カテゴリ	スポーツ・障がい・教育・人権
問合せ先	wavocparalym@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://wavocparalym.wixsite.com/parapro Twitter: https://twitter.com/wavoc_parapro Instagram: https://www.instagram.com/wavoc_parapro/ Blog: https://wasedakaribu.wixsite.com/homepage
メンバー数	10~15人
参加費用	年5万円程度
活動時期・頻度	火曜日6限のミーティング（メンバーの都合に合わせて変更）、夏季春季休暇中のイベント
年間活動	4-5月 新歓活動 8月 東京パラリンピックに向けたイベント 8-9月 メンバー合宿 11月 早稲田祭 12月 活動成果発表会 その他の活動 パラスポーツ観戦、他大学や地域のイベントやボランティアへの参加、パラアスリートとの合同合宿 など（コロナウイルスの影響で今年は開催できないものもありますが、代替の案を皆で模索しています。） ※毎年活動内容はメンバー全員で決めています。

| 青空子ども会 II |

| 公園 |



青空子ども会 II では、毎週土曜日に近くの公園にて近所の子供達を集めて活動を行っています。活動内容としては、学生が考えた遊びを行います。また、時期に合わせたイベントも実施しており、それに向けての準備も活動の一環です。このサークルは各ご家庭のお子様を預らせていただいている立場なので、活動中はもちろん活動後の安全にもとても気を使っています。地域のご家庭のために活動したい、もしくは子ども達と思い出に残る経験をしたいと思う方など、ぜひお待ちしております。

◆Episode :

このサークルは、幅広い年齢層の人たちと交流できること、子供の成長を間近で見ることができ、イベントや行事を通してみんなの協調性を育むことができること等、沢山の良い点があります。特に、まわりに気を配るようになった、といったような子供の成長を感じる瞬間は本当に感慨深いものであり、嬉しいものです。子供だけでなく、学生も成長していくこのサークルに入って本当に良かったと思いました。

代表者	名前：村井 稜 所属：早稲田大学 先進理工学部 3年
カテゴリ	教育・地域交流
問合せ先	bluesky.kodomokai2@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: blueskykodomokai2.com Twitter: aozora_children
メンバー数	44人
参加費用	半期：会費1000円 保険費800円
活動時期・頻度	毎週土曜日（長期休暇期間を除く、イベント時は日曜日も）
年間活動	4月：新歓 5月・6月：春のハイキング 7月：七夕 8月：夏のキャンプ、夏合宿(学生のみ) 9月・10月：目白祭、ハロウィン 11月：秋のハイキング 12月：クリスマス会 1月・2月：節分、冬のファイティング 3月：春合宿(学生のみ) (8月、12~1月の年明け前後、3月は通常活動がありません)

| アトム通貨実行委員会 新宿支部早稲田高田馬場エリア |
| 早稲田のまち、部室 |



アトム通貨は早稲田・高田馬場の更なる活性化のために生まれた地域通貨で、早稲田大学の学生が運営しています。アトム通貨は早稲田・高田馬場にある約130の加盟店で使用できます。イベントを実施し、「社会貢献活動（イイコト）」をしてくれた参加者にお礼として通貨をプレゼントしています。また、地域のイベントでも企画出展をして通貨を配布しています。地域の人や他の地域サークルの人たちと深い関わりを築くことができ、普通の大学生とは少し違う充実した大学生活を送れるはず。早稲田のまちを舞台に自分のやりたいことを形にしてみませんか？ぜひ早稲田を第二の故郷に！

◆ Episode :

アトム通貨の強みは早稲田のまちを舞台に大きく活躍できることです。大学生だけではできないイベントでも商店会をはじめとした地域の方々の協力の下、たくさんのイベントを成し遂げてきました。アトム通貨のメンバーには商店会の方々の中に完全に溶け込んでいる人、子どもと遊ぶのが大好きで地域の子とも達にお兄ちゃんのように慕われている人、イベント運営に真面目に取り組む人など様々な人がおり、誰もが各々の強みを生かして活躍できる環境が整っています。まちづくりや地域に興味のある人、イベントの企画や運営をしたい人、真剣に物事に取り組みたい人、多様なスキルを身につけたい人といった様々な人が集まっているので刺激を受けることができます。

代表者	名前：谷垣 結生 所属：早稲田大学 文化構想学部 3年
カテゴリ	地域活性化・環境・教育・国際協力
問合せ先	atom.c.wt@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: http://www.atom-community.jp
	Twitter: @atom_c_wt
メンバー数	18人
参加費用	なし
活動時期・頻度	週1回のミーティングと月1~2回のイベント
年間活動	4月：オープニングイベント 5月：クリーン大作戦 6月：クリーン大作戦
	7月：打ち水大作戦 8月：夏合宿
	9月：地球感謝祭 など年間を通して早稲田・高田馬場の街を舞台に様々なイベントの実施、参加をしています。

| 思惟の森の会 |
| 岩手県下閉伊郡田野畑村（学生会館に部室（E617）もあります） |



思惟の森の会では、主に田野畑村で農業、林業、漁業、地域交流などを行っています。早稲田大学オフィシャルウォーターである「早稲田水」は田野畑村で採取されたものです。村には寮も設置されており、長期休暇には泊まり込んで村の方々のお手伝いとして農業や漁業に携わっています。ボランティア活動という意識だけでなく自身も活動を楽しむ意識があり、現在は森を使って子どもたちに新しい遊び場を提供する「プレイパーク」の計画も進行中です。合宿中は釜でお米を炊き、村の方からいただいた食材を用いて自炊するので、合宿所での生活も楽しみの一つです。

◆ Episode :

田野畑村ではよく農作業のお手伝いに行きます。農家さんのお手伝いと言えば収穫を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実際は草むしりや無駄な葉の除去といった地味な作業が多く、お手伝いも大変です。しかし体験することで初めて、農家さんの実態と食の大切さを学ぶことができます。日本では形の悪い野菜は販売されず捨てられてしまうことが多いですが、お手伝いに行くとこの野菜やご厚意によって自家栽培の食材を頂くことができます。頂いた食材で作ったご飯をメンバーで囲んで食べる時間は最高です。僕にとって田野畑村とは、人の温かさ、食のありがたみを教えてくれる大切な場所です。

代表者	名前：丸山 直樹 所属：早稲田大学 文化構想学部 3年	
カテゴリ	環境・農業・地域交流	
問合せ先	mori.waseda@gmail.com	
団体WEBサイト等	HP: http://moriwaseda.wixsite.com/morinokai	
	Blog: http://blog.livedoor.jp/morinokai/	
	Facebook: https://ja-jp.facebook.com/mori.waseda	Twitter: https://twitter.com/moritanohata
メンバー数	25人	
参加費用	合宿参加のため諸経費（交通費、生活費等）（入会費・年会費0円）	
活動時期・頻度	主に長期休暇期間に活動します。月に一回程度ミーティングがあります。	
年間活動	春休み(2月~3月)：挨拶回り ゴールデンウィーク：新歓合宿(田野畑村)	
	5月~6月：春季草刈り(東伏見キャンパス) 夏休み(8月~9月)：夏合宿	
	10~11月：秋季草刈り(東伏見キャンパス) 10月末頃：稲門祭 秋休み(早稲田祭期間)：秋合宿	

| チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～ |

| アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島 |



私たち、「チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～」、通称HawaiiPJは、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)から生まれた、早稲田大学公認サークルです。アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島のボルケーノ村にあるチャータースクール、“The Volcano School of Arts and Sciences (VSAS)”で、毎年春休み中の2月と夏休み中の8月下旬から9月上旬にかけて2週間、学生チームが現地に渡航し、日本文化教育支援や文化交流を行っています。

◆Episode :

HawaiiPJの特徴はメンバー間の仲の良さとなんだな活動を実現できる柔軟さにあります。渡航メンバーとはもちろん、それ以外の先輩や後輩とも活動を通して仲を深めることが出来ます。気さくで優しく、頼もしい人が多いためか、オンライン忘年会ではまるで実際に対面したかのように話を花を咲かせることが出来ました。さらに、グループでの毎週のオンライン会議はアイデアの源となっています。最近ではコロナ禍での代替措置の一つとして、ハワイのことをメンバーに伝えるstudydayの企画案を実現させました。

代表者	名前：村田 陽香 所属：早稲田大学 教育学部3年
問合せ先	hawaii.pj.aloha@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://hawaiipjaloha.wixsite.com/hawaii-pj Twitter: https://twitter.com/hawaii_pj その他、youtube等: https://www.instagram.com/hawaii_pj/ @nr15974j (LINE@) https://www.youtube.com/channel/UC215YqBHyScn_FPcFWKHiDQ/videos (YouTube)
メンバー数	33人
参加費用	入会費：なし、年会費：2000円、渡航費：20万～25万
活動時期・頻度	夏(8月下旬～9月上旬)と春(2月下旬～3月上旬)
年間活動	年2回の渡航、週に1回のミーティング、勉強会(ゲストを招くこともある)、ボランティアプレゼンコンテスト・ボラカフェへの参加、現地の学校への日本文化動画の作成・Google classroomを用いたオンライン授業

| DOORS-日越交流プロジェクト- |

| ベトナム |



DOORS-日越交流プロジェクトとは、早稲田大学学生部公認サークルです。「相互理解・相互成長」という活動理念のもと、年に2回ベトナムへと足を運び、交流会活動と奨学金の授与を行います。現地で関わるベトナム人は小学生から社会人の方まで幅広いため、それぞれの相手に対して自分たちができることやしたいことを考え、様々な形での交流や支援を行っています。コロナ禍では、オンラインでベトナムの大学生とのトークセッション開催やベトナムフェスティバルへの出展、募金活動を行いました。

◆Episode :

ホーチミンからかなり離れた地区の中学校で、校長先生が私たちにおっしゃった言葉がとても印象に残っています。「彼らにとってあなた達が、初めて出会う外国人なんです。」こう聞いて、純粹に嬉しく光栄なことだと感じると同時に、私たち日本人との間にある生活や価値観の差を感じました。住んでいる場所によって顕著に現れる経済的な格差や、海外がまだまだ身近ではない発展途上のベトナム国内の現状を目で見て知ることができました。知ることができたからこそ、自分達が子供達にできることはなにか、出会うことのできた人々とどんな交流をし、新鮮な体験をしてもらえるかを日々考えています。

代表者	名前：井澤 大樹 所属：早稲田大学 社会科学部3年
カテゴリ	教育・国際交流
問合せ先	doors_viet_waseda@yahoo.co.jp
団体WEBサイト等	HP: https://nichietsu.jimdofree.com/ Blog: https://nichietsu.jimdofree.com/ Facebook: DOORS_nichietsu Twitter: nichietsu Instagram: @doors_nichietsu
メンバー数	約20人
参加費用	約10万円
活動時期・頻度	週一回の国内ミーティング、春夏各2週間ずつの渡航
年間活動	4月～8月：夏渡航準備 夏季休暇：夏渡航 (2週間) 9月～2月：春渡航準備 春季休暇：春渡航 各月：国内交流会等 その他：ベトナムフェスティバル参加 (6月)、早稲田祭出店、総長杯運営等

| ボランティアサークル 積木の会 |

| 学生会館、新宿区立障害者福祉センター |



積木の会は小さなお子様からお年寄りまで、様々な障がいを抱えている方との交流が主な活動です。個人的にお世話になっている方のご自宅にお邪魔して簡単な生活の補佐や世間話をしたり、外へ出かけてお散歩やお食事を楽しんだり、施設で職員さんのお手伝いをしています。介護の資格はいりません！車いすを押した経験が無い方も一から先輩に優しく教えてもらいながら学べるので大丈夫です！活動を通して、様々な新しい発見や出会いの連続で視野を広げることができます。新しい一歩を踏み出し、今見えている景色を変えてみませんか？

◆Episode :

大学に入学する前は自分が障がいのある方々とのボランティア活動に関わるとは思ってもいませんでした。そんな私が認識を改めさせられたのは、実際に障がいのある方々との交流を体験したことによるところが大きいです。自分の当初持っていた無根拠な固定観念とは対照的に、彼らは様々なことにエネルギーを取り組み、身振り手振りや豊かな表情でこちらに語り掛けてくれます。そのアクティブさに私はいつも元気をもらっています。ボランティア活動はただこちらが施すだけのものではないのです。対面での活動が制限される中ではありますが、ぜひ多くの方にこの感覚を味わってほしいです。

代表者	名前：永井 伸星 所属：早稲田大学 教育学部3年
カテゴリ	地域交流・福祉
問合せ先	welcome-to-tsumiki@hotmail.co.jp
団体WEBサイト等	Twitter: @tsumikinokai
メンバー数	55人(2021年1月21日現在)
参加費用	年会費6,000円(昨年度は徴収なし)
活動時期・頻度	ほぼ毎日
年間活動	6月：バスハイク 9月：合宿 10月：積木フェスタ 11月：早稲田祭バリアフリースタッフ 12月：クリスマス会 3月：追いコン、合宿

| まつだい早稲田じよんのびクラブ |

| 新潟県十日町市 |



じよんのびクラブは、新潟県十日町市松代・蒲生地域で教育支援や地域交流をするボランティアサークルです。じよんのびクラブが他のサークルと大きく異なる点は、現地活動の数です。約1ヶ月に一度、現地を訪れて、地元子ども達やお年寄りと一緒に深く関わることができ、いつも元気を貰っています。また、十日町市役所の方にも全面的に協力して頂いて、とてもアットホームな環境です。ボランティアというよりは、地元の方と一緒に楽しく過ごすことを重視して活動しています。メンバー同士は、人数が少ないこともあってとても仲が良いです。

◆Episode :

自然豊かな地域でボランティアをすることに魅力を感じ、何気なくサークルに入ったのがきっかけでした。ボランティアは自分たちが進んで社会活動に無償で参加する人という意味があります。しかし、実際に現地で活動をしていく中で、私たちが与えるだけでなくむしろ現地の人々から与えられるものの方が多いと感じました。私たちが現地に赴くと、子どもたちから高齢者の方までとても喜んで迎え入れてくれ、家族のように接してくれます。現地の人たちの温かさ感謝の気持ちでいっぱいです。私にとって松代はもう一つの故郷ともいえる場所です。現在大変な状況で活動に行けない日々が続いていますが、今できることを考え、活動していきたいと思えます。

代表者	名前：佐藤 力輝 所属：早稲田大学 商学部3年
カテゴリ	教育・地域交流
問合せ先	jonnnobiclub@gmail.com
団体WEBサイト等	Blog: mwjc002.web.fc2.com Twitter: jonnnobiclub
メンバー数	16人
参加費用	各現地活動につき、4000円程度
活動時期・頻度	現地活動：月に一度 ミーティング：週に一度
年間活動	5月：道普請・山菜採り 6月：新歓合宿 8月：松代塾ジュニア（10日程度） 9月：秋祭り手伝い 10月：よさこい祭り手伝い 2月：雪国体験プロジェクト（一週間） 山菜採りは、収穫した後に地元のおばあちゃんが美味しい山菜料理に変身させてくれます。また、お祭りではラーメンの出店を手伝ったりもしています。特に、じよんのびクラブの二大プロジェクトが8月の松代塾ジュニアと2月の雪国体験です。松代塾ジュニアは、午前中に地元の小中高生に勉強を教え、午後はBBQや花火、川遊びなど楽しい企画が盛りだくさんです。2月の雪国体験は、雪かきのお手伝いをメインに民泊や温泉に浸かったり！都会の喧騒から離れて、一緒にゆっくり過ごしてみませんか？

| ラオス学校建設教育支援プロジェクト～スーン～ |

| ミーティング：学生会館 渡航：ラオス・チャンパサック県 |



スーンは学生部公認サークルです。2009年から活動を始め、昨年度10周年を迎えました。『共に考え、共に感じる』という活動理念のもとで、ラオス・チャンパサック県において、小学生の子どもたちに対する教育支援活動を行なっています。現地への渡航では、子どもたちに授業を行うほかにも、村の方、先生方との交流や家庭訪問など、村全体を巻き込んだ教育へのアプローチを行なっています。国内では週2回のミーティング活動、早稲田祭への出展、プレゼンテーション大会への出場を通してスーンの活動を知っていただくために活動しています。

◆Episode :

昨年度はコロナの影響で、スーンは毎年の渡航を諦めざるを得ませんでした。渡航を目標にして毎週ミーティングを行っていたため、とても残念で最初はかなり落ち込みました。しかし活動を休止するなどの話は一切出ず、すぐに国内での活動について話し合いを始めました。その結果、授業動画プロジェクト、クラウドファンディング、手洗い歌プロジェクトの3つに挑戦することができました！プロジェクトを行っていく中で、他のボランティア団体や企業様、ラオス人留学生の方など様々な方のご支援をいただきました。渡航に行くことができなかったにもかかわらず、多くのメンバーが「達成感を感じた」と話しているのを聞き、とても嬉しく思いました。

代表者	名前：陣鎌 理子 所属：早稲田大学 政治経済学部3年
カテゴリ	国際・教育
問合せ先	sung.shinkan@gmail.com
団体WEBSITE等	HP: https://laosung.wixsite.com/waseda Twitter: http://twitter.com/#1/laos_sun Instagram: https://www.instagram.com/laos.sung YouTube: https://www.youtube.com/channel/UC1Pdox7s-kHfC0Dl7E7XtJg
メンバー数	10人
参加費用	ラオス渡航費 約25万円
活動時期・頻度	ミーティング週2回・ラオス渡航年1回(冬予定)
年間活動	1年を通じて週2回、ラオス渡航に向けたミーティングをしています。今年度は11月に早稲田祭の出展、12月から1月の冬休みの時期にラオス渡航を予定しています。その他日本でのラオスに関する企画等に参加することもあります。 *ミーティングの曜日は未定です。決まり次第twitter等でお知らせしますので、よければご確認ください。

| 早稲田大学 学生NPO 農楽塾 |

| 早稲田大学大隈庭園 |



大隈庭園にある田んぼと畑の管理がメインの活動です。昼休みに行き、3限が空いているメンバーでよくご飯に行きます。また、早稲田幼稚園や墨田区のステップ学級と交流があります。田植えや稲刈りを一緒にやったり、遊んだりします。農家との交流もあります。所沢市で農業体験、かすみがうら市の鴨農家で、と殺や食肉加工体験ができます。また、内藤トウガラシプロジェクトの一員でもあります。合宿は年に4・5回自由参加で行われます。農業要素のないものから濃いものまで色々あります。ミーティングは自由参加で週1回行われます。

◆Episode :

「早稲田」なのに、なぜ「田」んぼがないのか？この素朴な疑問から、2004年私たち農楽塾は発足しました。そして誕生した大隈庭園にある早稲田の「わせでん」。農楽塾はその「わせでん」を中心に幅広く活動してきました。発足から16年たった農楽塾ですが、これまでわせでんでの稲作に加え、様々な活動を行ってきました。早稲田キャンパス南門で行っているバケツ稲は一般認知度も高く、南門のいち風景として馴染んできています。内藤トウガラシプロジェクトでは、東京都や複数の学校とチームを作り、絶滅しかけていた江戸野菜の復興に力を入れてきました。私たちはこれからも「農を楽しみ、農を考える」をモットーに活動していきます。

代表者	名前：横山 達郎 所属：早稲田大学 社会科学部4年
カテゴリ	農業・地域交流
問合せ先	nogakujuku@yahoo.co.jp
団体WEBSITE等	HP: nogakujuku.net Blog: http://blog.livedoor.jp/waseda_nogakujuku/ Twitter: https://twitter.com/nogakujuku
メンバー数	46人
参加費用	春学期2000円 秋学期2000円
活動時期・頻度	通念活動日は、月曜日-土曜日の昼休みと、土日に一日かけての各種農業体験
年間活動	4月:新歓、田起こし、代かき、野菜栽培 5月:田植え(幼稚園・ステップ学級合同企画) 6月:ザリガニ釣り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 7月:ネット張り 8月:合宿 9月:屋代村塾訪問、内藤トウガラシ収穫祭 10月:稲刈り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 11月:稲の脱穀、収穫祭 2月:追い出しコンパ、寒起こし、土作り 3月:合宿 その他、企画随時開催

| 早稲田大学 学生環境NPO 環境ロドリゲス |

| 早稲田地域、都内の小学校、福井県鯖江市、宮城県南三陸町、千葉県鹿野山、新潟県佐渡島 |



私達環境ロドリゲスは「学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する」を理念として活動し、今年で25年目となる環境ボランティアサークルです。環境ロドリゲスの特徴は「環境x○○」というテーマごとに別れて活動する企画という仕組みです。現在は教育や商品開発など、長く続いているものから昨年新たに始まったものまで全部で7つの企画が活動しており、自分の興味のある分野で、自分に合った活動頻度で参加することができます。環境問題に関心があるあなたも、何か新しいことを始めたいと思っているあなたも、ロドで楽しくボランティア始めてみませんか？

◆ Episode :

2019年8月のこと、私たちは福井県鯖江市でオリンピックの聖火リレーに合わせてとある環境イベントを開催するため、役所や商店街を回っていました。福井県鯖江市は、過去10年以上にわたって環境ロドリゲスが泊まり込みで地域の子も達に向けた環境教育のイベントを実施している地域です。初めはなかなか開催の糸口を掴むことができませんでしたが、鯖江でいつもお世話になっている方が各所に話を通してください、開催が決定しました。私たちだけの力では難しいことでしたが、これまでの信頼関係の積み重ねがこういった結果につながるのだと、人との繋がりの大切さを実感する経験になりました。

代表者	名前：伊藤 聡志 所属：早稲田大学 創造理工学部3年	
カテゴリ	環境・教育・地域活性	
問合せ先	rodo_contact@yahoo.co.jp	
団体WEBサイト等	HP: https://www.rodorigues.com	
	Facebook: https://www.facebook.com/rodo.jp	Twitter: https://twitter.com/er_rodo
	Instagram: https://www.instagram.com/er_rodo/?hl=ja	
メンバー数	50人	
参加費用	2000円/半年	
活動時期・頻度	1年中(試験期間を除く)・1企画あたり週1回(複数企画掛け持ち可能)	
年間活動	4・5月：新歓、レレレ隊(新歓ピラ回収)、新歓合宿、新歓遠足 6・7月：試験期間、早慶サッカー(ゴミ分別指導) 8・9月：鯖江訪問、東北訪問、佐渡旅、出前授業(小学生向け環境教育)、地球感謝祭 10・11月：稲門祭、早稲田祭、理工展、秋合宿、鹿野山訪問、西早稲田こども天国 12・1月：総会、勇退会、エココン、試験期間 2・3月：出前授業、鯖江訪問、春合宿、追いコン	

| 早稲田大学気仙沼チーム |

| 宮城県気仙沼市、東京都内 |



私たちは東日本大震災直後の早稲田大学と宮城県気仙沼市のつながりから発足し、以来、継続的に復興支援活動に取り組んできました。仮設住宅や災害公営住宅での交流会、気仙沼訪問時の公募参加者へのスタディーツアー実施のほか、東京で開催されるイベントへも参加しています。今年度は、noteを活用しオンライン上で気仙沼の魅力を発信する記事を作成しています。東日本大震災から10年を迎え、震災当時の姿だけでなく現在の魅力も発信することで、気仙沼がより活気溢れる元気な街になるよう復興のお手伝いをしています。

◆ Episode :

気仙沼を支える人との出会いが、私たちの活動の原動力になる。早朝、まだ少し更地の目立つ魚市場前にボツと、できたばかりの食堂と銭湯を見つけた。初めて来た私たちも「早稲田の気仙沼チームか！毎年お祭りの手伝いとかありがとね」と笑顔で迎え入れてくれた。「防潮堤建設で失った銭湯を漁師さんのために復活させたくね」しみじみと女将さんは語る。昔から行き交う人々を大切にしてきた港だから、垣根のない優しい人たちに溢れているんだと実感した。この街の復興の無限大の可能性と魅力は人にある。こうした幾つもの「出会い」と「ご縁」に感謝し、「ご縁」を繋ぐことで、ささやかながら気仙沼をより元気にするお手伝いをしていきたい。

代表者	名前：栃下 航輝 所属：早稲田大学 社会科学部3年	
カテゴリ	地域交流、地方創生、東日本大震災復興支援	
問合せ先	kpjt2011@gmail.com	
団体WEBサイト等	Blog: https://note.com/kesenuma2020	
	Facebook: https://www.facebook.com/pg/kesenuma.shien.team/about/	Twitter: https://twitter.com/wavoc_kt
	Instagram: https://www.instagram.com/waseda_kesenuma/	
メンバー数	22人	
参加費用	会費：通年1万円(ボランティア保険加入費含む) 現地活動：随時(感染状況により変動します)	
活動時期・頻度	二・三か月に一度の気仙沼訪問(感染状況により変動します) その他月に3回ほどミーティング	
年間活動	5月：ボランティアプレゼンコンテスト 6月：6月便(気仙沼訪問) 8月：気仙沼みなとまつりお手伝い 9月：地球感謝祭参加 10月：気仙沼サンマフェスティバル参加/稲門祭参加 12月：Kesenuma,Voices.上映会/12月便 3月：3月11日追悼企画 ※その他、依頼次第で気仙沼や東京で物産展などのお手伝い (2020年度活動) ・7月-8月：団体紹介活動(ボラカフェ等)・9月(-現在)：気仙沼紹介メディア作成 ・1月：学習支援イベント実施・3月：東日本大震災追悼企画	

| 早稲田大学広域BBS会 |

| 都内外の更生保護施設等 |



法務省保護局更生保護協力団体。非行や不登校、虐待など、保護観察中の青少年や様々な生きづらさを抱えた子供たちに対し、お兄さん・お姉さんの立場で接するボランティア。先生でもなければ親でもない、支援員のないロールモデルとなるのが目的です。少年たちと同じ目線で寄り添い、話し相手になったり、更生保護施設に向いて学習支援を行ったり、グループワークでレクを企画したりしています。また、施設見学や研修会など、年間スケジュールに記載のない単発のイベントもあり、自分のペースで活動を続けられるのも魅力の1つです。

◆Episode :

私は、児童福祉施設で子どもたちと関わる活動を行ってきました。ある子が、授業後に「大学生って楽しい？」と尋ねてくれました。私が勉強していることや興味があること、大学生はどんな生活をしているのか、などを話すと、そんな世界もあるのか！と感動した様子でした。施設にいても、色々な考えに触れて欲しい。そんな思いで、先生でも職員でも親でもない関係、「ナナメの関係」だからこそできることをやっていきたいと思っています。

代表者	名前：服部 英美里 所属：早稲田大学 法学部3年
カテゴリ	人権・教育・学習支援
問合せ先	w_bbs@yahoo.co.jp
団体WEBサイト等	HP: https://bbs-waseda.jimdo.com Twitter: @wasedaBBS
メンバー数	115人(2020年1月時点)
参加費用	年5000円
活動時期・頻度	不定期・随時
年間活動	6月：初夏のグループワーク、「社会を明るくする運動」広報パレード・式典 7月：BBS新会員研修会 8月：納涼祭(一時保護所)、お楽しみ会(養育家庭)、後期総会、夏合宿 10月：秋のグループワーク 11月：市原学園(少年院)交歓会、OBOG会 12月：早稲田矯正保護展、クリスマス会(一時保護所)、合唱ボランティア(誠明学園) 3月：春合宿、前期総会 (ただし、コロナでオンラインまたは中止、延期になっているイベントあり)

| 早稲田大学POST |

| 早稲田大学とその周辺 |



「ボランティアしてみたいけど、具体的に何がしたいかわからない…」 「いろんなボランティアに挑戦してみたい」 などなど考え中のそこのあなた！ そんなあなたにはPOSTがオススメです！ POSTに入るとボランティアを通して、下は小学生から上は90近くのおじいちゃんおばあちゃんまで幅広い世代の方達と交流できます。さらに、夏休みには農業体験をすることもできます！ 飲み会をしたり、ディズニーに行ったり、春合宿をするなどの遊びも充実！ 雰囲気の良いさはボランティアサークルの中で一番の自信アリ！ ぜひ見学にいらしてください！

◆Episode :

社会は、様々な「つながり」を前提に成り立っています。人と人、人と町、人と文化…。挙げるとキリがありません。しかし、人々にとって不可欠な「つながり」が、未曾有の事態により、危機を迎えています。早稲田大学POSTでは、活動が大幅に制限された新型コロナ禍においても、当サークルの理念「やわらかく、つながる。」を絶やさないため、できることを、できる限り、行ってまいりました。困難の溢れる時代だからこそ、私たち大学生だからできることが確実にあります。ボランティアに触れるきっかけはなんでもいい、ボランティアに明確な答えもない。私たちはただ、「つながり」を絶やしたくないだけなのです。

代表者	名前：吉田 幸水 所属：早稲田大学 スポーツ科学部3年
カテゴリ	地域交流・農業
問合せ先	post.planner2013@gmail.com
団体WEBサイト等	Twitter: plannerpost
メンバー数	2年：6人 3年：16人
参加費用	年会費：2000円
活動時期・頻度	ミーティング：週1回 地域の高齢者との交流：月1回 学童のお手伝い：週6回(シフト制)
年間活動	毎週木曜18:15~19:30もしくは21:00~22:30：ミーティング 毎月第2日曜日：高齢者との交流会(サロン) 夏休み：農業体験 春休み：春合宿など

| WHABITAT |

| 早稲田キャンパス |



WHABITATは、主に東南アジアなど貧困地域での住居支援を行う国際NGO団体『Habitat for Humanity Japan』の学生支部です。毎週水曜日には、国内外の社会問題について学ぶミーティングを行うほか、例年春夏の長期休みには東南アジアなどで住居建築ボランティアを行っています。そのほかにも東北や新潟などで行う国内ボランティアや夏合宿や冬合宿、定期的に行われるレクなど楽しく遊べるイベントも多く用意しております。真面目にボランティアについて考えるときもあればイベントでは同期先輩後輩と一緒に思いっきり楽しむのがWHABITATの魅力です。

◆ Episode :

自分を変えたいという想いから、1年生の春にインドでの建築支援活動に参加しました。安心できる暮らしを必要としている異国のの人々に大学生ができることは何か、チームの仲間と悩み考え続けました。正解がない中で、私たちにしか作れない温かい家を作るために力を尽くした日々は一生忘れられません。活動最終日に現地の方や仲間が伝えてくれた感謝の言葉一つ一つが、何にも変えられない宝物です。勇気を出して一歩踏み出しさえすれば、自分を必要としてくれる人はこんなにも遠い国にも近い場所にもいることを実感しました。コロナ禍である現在は、国内でできる限りの活動を行っています。たとえ一歩踏み出す先が近くになろうとも、あなたを必要としている人は必ずいるはずです。

代表者	名前：吉岡 遼 所属：早稲田大学 文学部3年	
カテゴリ	国際・住居支援	
問合せ先	whabitat.mail@gmail.com	
団体WEBサイト等	HP: http://whabitatwaseda.wixsite.com/whabitat	
	Facebook: https://www.facebook.com/2008whabitat	Twitter: http://twitter.com/WHABITAT
	Instagram: https://www.instagram.com/whabinsta	
メンバー数	84人	
参加費用	3000円	
活動時期・頻度	毎週水曜日のミーティング（去年は主にzoomで）、夏季春季休業中のイベント	
年間活動	4月：新歓イベント 5月：新歓イベント、新歓合宿 6月：早慶戦観戦、1-4年会 7月・8月：納会、夏合宿、国内ボランティア、海外住居建築ボランティア (GV) 9月：国内ボランティア、海外住居建築ボランティア (GV) 10月・11月：早稲田祭、引退式 12月：クリスマスパーティー 1月：新年会 2月：冬合宿、海外住居建築ボランティア (GV) 3月：海外住居建築ボランティア (GV)、国内ボランティア+毎週水曜日早稲田キャンパス、またはその付近でのミーティングその付近でのミーティング	

| 海士ブータンプロジェクト |

| 早稲田大学早稲田キャンパス・島根県隠岐郡海士町・ブータン |



私達の舞台は、ここ数年で相互の人的交流が盛んになってきている島根県の離島・海士町とブータンです。地域創生の「挑戦事例」を数多く有する海士町からの学びを元にブータンの地方問題に一石を投じることを目指して活動しています。2020年度は、海士町の「食」分野に焦点を絞り、現地の高校生とタッグを組み、海士町の食のPRやレシピ考案に挑戦するプロジェクトを立ち上げました。2021年度は、「食」プロジェクトの継続、海士町訪問、早稲田祭出店、ブータンスタディツアーの開催を目標に活動したいと考えています！

◆ Episode :

“世界一幸せな国”と言われるブータンは一体どんな国なのか自分の目で確かめたいという思いから渡航を決意した。ホームステイや学校訪問、地域散策を通して、様々なブータン人と出会い、“今あるもの”を大切にしている彼らの価値観と、彼らの心の温かさに触れた。しかし、人々が幸せに暮らす一方、環境問題への意識の低さや地方と都市部の発展具合の差に課題を感じ、今後の活動へと活かすヒントを得ることもできた。

あなたは、多様な人々とのつながりを軸に、地域活性化に主体的なプレイヤーとして携わります。地域創生に興味がある、ブータンや海士町に行ってみたい、どんなきっかけでも構いません。ぜひ、私たちと一緒に活動しませんか？

代表者	名前：村田 雄人 所属：早稲田大学 法学部3年
カテゴリ	地域創生・国際
問合せ先	amatanwavopro@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://www.waseda.jp/inst/wavoc/news/2017/03/27/2560/
	twitter: https://twitter.com/amatanwavopro
	Instagram: https://www.instagram.com/amatanwavopro/
メンバー数	5人
参加費用	約3万円（海士町までの往復交通費）・約20万円（ブータン渡航費）
活動時期・頻度	ミーティング（週1回）・長期休業中（海士町訪問：数日間、ブータン訪問：約10日間）
年間活動	4-5月：メンバー募集
	4-7月：海士町「食」プロジェクト・海士町訪問準備
	夏季休業中：海士町訪問
	10月-1月：ブータンスタディツアー企画・準備（未定） 春季休業中：ブータンスタディツアー開催・報告会（未定）

| いぐべおぐに |

| 山形県小国町 |



いぐべおぐには、山形県の小国町を訪れ、祭りなどの行事を通じて現地の人々との交流しています。マタギの方々のお祭りである「熊祭り」や、有数の豪雪地帯である小国のとんでもない量の雪を利用する雪祭り、食べ物ではいうまでもなく美味な米沢牛をはじめ、肉厚でうまみの詰まったきのこや町のマスコットにもなっている蕨、山形地鶏など、楽しいことにもおいしいものにも恵まれている、そんな小国町で活動しています。

◆Episode :

我々いぐべおぐにや小国町の人々が繋がるfacebookグループ「小国町ファン組織」。今年の八月小国町に行きたいと思いそのグループで「誰か泊めていただけませんか」と呼び掛けてみると、町の方からありがたくも「泊まっていよいよ」とのお声をいただきました。片や東京、片や山形と物理的には250キロも離れていますが、我々、そして先輩方の長年の活動によって着実に良い関係を作ることができていることを実感できました。

代表者	名前：片岡 隆史 所属：早稲田大学 社会科学部 3年
カテゴリ	地域交流
問合せ先	igubeoguni@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: http://igubeoguni.wix.com/igubeoguni Facebook: https://www.facebook.com/pg/igubeoguni/about/ Twitter: @igubeoguni
メンバー数	7人
参加費用	なし
活動時期・頻度	通年、頻度は未定
年間活動	5月：熊祭りに参加 3月：雪祭りに参加 その他年間を通して小国町の方々と交流

| ISHINOMAKIの朝日プロジェクト |

| 東京都 |



私達の団体は、2019年に発足した新しい団体で、現在約15名のメンバーと共に活動しています。ですので、皆が先輩後輩関係なく積極的に参加しており、日頃から活発な議論が行われています。一つのメインイベントでもある、中学生向け防災ビジネスコンテストでは外資系企業の社員の方とも交流があり、自らの成長にもつながります。このプロジェクトを通して、大規模な自然災害で被災をしたとしても、自然災害以外の大変な出来事に直面したとしても、自分や大切な人たちの命・人生を守りぬき、未来に向かって立ち上ることができる力を身につけたいと考えています

◆Episode:

昨年度に引き続き、中学生対象の防災ビジネスコンテストに学生ボランティアとして参加しました。このビジネスコンテストでは外資系企業の社員さんとも交流があり、自らの成長にもつながります。そして、今年度は新たに「インプット企画」という企画を立ち上げ、自分達の防災知識を高める学習イベントも盛り込みました。感染症の影響により、対面での活動が行いにくい状況ではありますが、オンラインでもできることを前向きに取り組んでいます。

代表者	名前：土井 恵子 所属：早稲田大学 政治経済学部
カテゴリ	防災教育・災害ボランティア・CSR
問合せ先	ishinomaki.asapuro@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://ishinomakiasapuro.wixsite.com/waseda-volunteer Instagram: ishinomaki_no_asahi Twitter: @asapuro_
メンバー数	13人
参加費用	入会費3000円
活動時期・頻度	週に一度のミーティング
年間活動	春学期 防災やビジネスの勉強 8月 石巻合宿 秋学期 中学生向け防災ビジネスコンテストにボランティアとして参加

| いすみっこ千葉@早稲田 |

| 千葉県いすみ市 |



いすみっこは、タコやイセエビなどの海の幸や梨などの果物をはじめとした美味しいグルメに溢れている千葉県いすみ市で活動する団体です！現在は以下のプロジェクトが進行中ですが、皆さんの「やりたいことができる！」団体です。

- ①中学生向けオンライン塾「ニュートンのめがね」の開催
- ②狩猟のリアルを伝える！「狩猟カードゲーム」の作成
- ③いすみの商店街を盛り上げる！「椎木商店街esports-Bar」の新店
- ④中学生の授業サポート「房総すくい人図鑑」

コロナ禍の中でも毎週MTGを行い、実際に日帰りして現地活動を続けてきた実績のある団体です！
地域の人とこれだけ距離が近いのはいすみっこだけ！
まずは観光だけでもOKなので一緒にいすみに行ってみませんか？

◆Episode :

新歓合宿で、畜産農家さんが地域の「いらない」酒粕を使って牛を飼育していることや、猟師さんが深刻な獣害を引き起こすキョンの皮でグッズを作っていることを学び、ミーティングで「いらないものを楽しく使う」というテーマで企画をつくろうと決めました。竹林問題が深刻で「竹なんていらない」とされるいすみで「竹を楽しく使おう！」ということで「竹水鉄砲サバイバルゲーム」を開催しました。しかしイベントを開催したことがない私は不安しかなかったのですが、市役所の方からの指導や竹林の伐採・加工場所に関する地域の方々からの紹介にとでも助けられました。決して「他人事」にはしない、いすみ。一緒にいすみませんか？

代表者	名前：小泉 勇輔 所属：早稲田大学 政治経済学部 4年
カテゴリ	企画・地域交流・水産業・教育・狩猟
問合せ先	isumi.waseda@gmail.com
団体WEBSITE等	Blog: https://ameblo.jp/isumi-izumi/ Facebook: https://www.facebook.com/%E3%81%84%E3%81%99%E3%81%BF%E3%81%A3%E3%81%93-1751248708530222/ Twitter: https://twitter.com/isumitowaseda LINE@: https://lin.ee/70aEKfw
メンバー数	20人
参加費用	なし
活動時期・頻度	適年・毎週一回（早稲田でのミーティング）、月1回程度（いすみ市訪問）
年間活動	毎週1回早稲田またはオンラインでZoomを用いてミーティング 適年：企画ミーティング；いすみ市で行う企画のブラッシュアップをプロジェクトごとに実施 4月：いすみ体験ツアー；港の朝市でおいしい海鮮を堪能できます！ 狩猟カードゲーム体験会；狩猟を知ってもらうためのいすみっこ作のゲームをいすみの子どもと。 5月：新歓合宿 認定NPO竹炭研究会のお手伝い；竹林伐採&竹炭づくり体験 6月：竹ワークショップ開催 7月：チクリンピックに向けた準備 8月：「チクリンピック@いすみ市」開催；放置竹林を活用したゲーム大会 9月：房総半島でも随一のお祭り「大原はだか祭」の参加&お手伝い 中学生が考えた企画をいすみっこで実現するためのワークショップ 10月：早稲田ローカルフェスタAutumn開催 11月：水産業勉強会（有志開催） 12月：地域の方とのクリスマスパーティー 2月：「房総すくい人図鑑（いすみ独自の実践型教育授業）にて提案された企画実現のためのMTG 3月：いすみ星空観望会への参加、団体旅行（有志）

| spw |

| 戸山公園、学生会館、関東の小学校、学童、東北、ラオス、ミャンマー、フィリピン |



私たちは、「世界の子ども達とスポーツの楽しさを共有する」という理念のもと活動しています。国内では都内の小学校、東北地方にてスポーツイベントの実施、海外での活動報告を行っています。国外ではラオス・ミャンマー・フィリピンに渡航し、現地にてスポーツイベントを開催、運動用具、運動服の寄付を行っています。子どもたちにスポーツを通して、かけがえのない経験をしてほしい。そのような機会を作りたいという想いで活動しています。

◆Episode :

私は、spwでの活動を通して「ボランティアをしたい」という思いだけでは、物事を進めることはできないということを知った。私たちは、日本、海外と様々な地域でスポーツイベントを行うが、イベントに行き着くまでには様々な人の協力や、自分たちの努力が必要となる。その中で、意見のぶつかり合いや、長時間のミーティングなど大変な経験も多かった。しかし、イベントで言葉の壁を超え、スポーツを通じ子どもたちが笑顔になってくれることでスポーツの持つ力を改めて感じた。そして、spwの強みは参加するだけのボランティアではなく自分たちで創り出していくボランティアを体験できることだと感じる事ができた。

代表者	名前：片岡 俊人 所属：早稲田大学 文化構想学部3年
カテゴリ	スポーツ・ボランティア・国際交流
問合せ先	spw.spw.student@gmail.com
団体WEBSITE等	HP: https://spwstudent.wixsite.com/spw-0002 Facebook: https://www.facebook.com/spw.student/ Twitter: https://twitter.com/spw_student
メンバー数	約60人
参加費用	年会費 1万円
活動時期・頻度	年間を通して、週に2回
年間活動	6月：レクリエーションイベント 7月：国内イベント 8月：国内イベント 9月：東北 フィリピン渡航 10月：国内イベント 11月：国内イベント 12月：ラオス・ミャンマー準備 1月：ラオス・ミャンマー準備 2・3月：ラオス・ミャンマー渡航

NPO法人日本教育再興連盟 (ROJE)
| 学校ボランティアプロジェクト |

| 都内の公立小中学校 |



「子どもの『できる』を増やし、成長を支援する」という理念を掲げ、提携している都内の公立小中学校に大学生をボランティアとして派遣しています。ボランティアは教室に入り、授業中はクラス全体を見て個別に声かけを行ったり、ある特定の子に付き添ってサポートを行ったりします。休み時間は一緒に遊び、給食も一緒に食べます。その時に子供たちとお話したりすることもできます。これらの活動を通して子どもたちとの関係を深めていきます。私たちは子ども1人1人に向き合い、学習面・生活面での日々の成長を後押しします。

◆ Episode :

小学校でボランティアを始めて、1年が経ちました。実際に授業に参加して、落ち着きのない子や授業に遅れがちな子を中心にサポートをしています。私がボランティアを行う中で心掛けているのは、先生でも子どもでもない、大学生という視点だからこそできるサポートです。クラス内の雰囲気を見ながら担任の先生と意思疎通を図る一方で、子ども1人1人と対等に向き合い、各々のペースで少しずつ「できる」を増やしていきます。教員を将来目指す方にとっては、貴重な経験を積むことができますし、現在の教育現場に興味がある方にとっても、子ども達の日々の成長の一端を担えることにやりがいを感じるとともに、自分の成長を実感できると思います。

代表者	名前：村上 凜平 所属：早稲田大学 国際教養学部3年
カテゴリ	教育
問合せ先	vp.info@roje.or.jp
団体WEBサイト等	HP: http://kyouikusaikou.jp/vp/ Facebook: https://www.facebook.com/vpvvpvpvpv Twitter: https://twitter.com/ROJE_VP
メンバー数	20人
参加費用	ボランティア保険加入費 (300円・年)、活動校までの交通費、給食費 (希望者)
活動時期・頻度	【活動時期】 通年 (大学の時間割に合わせた活動時間の設定が可能) 【頻度】 週1回 (半年間のサイクルで継続可)
年間活動	通年：学校でのボランティア活動 (週1回) 4月～5月：春のボランティア説明会・初期研修 6月：前期研修会 9月～11月：秋のボランティア説明会・初期研修 12月：後期研修会

NPO法人日本教育再興連盟 (ROJE)
| 先生のための教育事典EDUPEDIA |

| 御茶ノ水付近の事務所 |



「日本一多く、教員を支援する教育実践情報プラットフォーム」をビジョンとして掲げ2008年に発足。具体的には、教員対象のWEBメディア「先生のための教育辞典EDUPEDIA (<https://edupedia.jp/>)」を運営し、月間の閲覧者数は約30万人となっている。運営の主体は早稲田生を含む全国の大学生で、関東のみならず、関西や広島にも支部を持ち、合計メンバー約100人で活動。取材・記事作成・広報・渉外などWEBサイトの運営に関わるほぼ全てのことを、大学生が主体的に行い全国の先生のために日々活動を続けている。

◆ Episode :

とある先生向けの勉強会に参加したときのこと。より良い授業を作り、子どもの学びを広げるために、忙しい仕事の合間を縫って多くの先生が集まっていました。プロとして日々子どもたちと向き合う先生方の発言には重みがあり、こちらは学ばせていただく一方でした。それでもEDUPEDIAの取り組みをご紹介しますと「よく使ってるよ、ありがとう!」「素晴らしい活動だね!」と励ましの言葉をかけてくださいました。大学生の自分にできることはそう多くはない。けれど、先生のために、そしてその先にいる何千、何万もの子どもたちのために、自分の足でより良い教育の手がかりを集めていかなければならない。その決意を再び新たにした日でした。

代表者	名前：増子 実桜 所属：早稲田大学 教育学部3年
カテゴリ	教育
問合せ先	edupedia.info@roje.or.jp
団体WEBサイト等	HP: https://peraichi.com/landing_pages/view/edupediarecruiting http://kyouikusaikou.jp/edupedia/ https://edupedia.jp/ Blog: http://kyouikusaikou.jp/category/blog/edupedia/ Facebook: https://www.facebook.com/edupediajp Twitter: https://twitter.com/redupedia
メンバー数	約100人
参加費用	年会費6,000円
活動時期・頻度	2週間に1回土曜にミーティングを行っている
年間活動	3月～4月：新歓 6月：合宿 9月：代替わり 取材・記事作成は自分の都合に合わせて

NPO法人日本教育再興連盟 (ROJE)
| つぼみプロジェクト |

| 福島県南相馬市 |



私たちは、東日本大震災で被害を受けた福島県南相馬市の子どもたちを対象としてキャリア教育を行っています。南相馬市では、震災の影響による失業や人口減少などによって、多様な働く大人を見られず、子どもたちが将来を描きにくいことが課題となっています。私たちは、そんな子どもたちが将来の可能性を広げるお手伝いをしている団体です。子どもたちを東京に呼んで、実際にいろんな企業に行ったり、逆に福島までプログラムをしに行ったりと様々な活動を行っています！子どもだけでなく大学生も成長できる、そんなつぼみで待っています！

◆Episode :

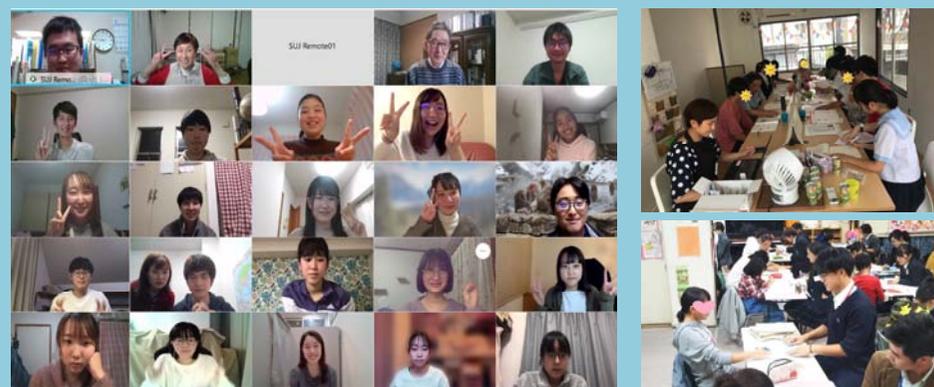
東日本大震災が発生したとき、私は小学4年生でした。震災が起きる1週間前に自分自身が福島県を訪れていたこともあり、テレビで見る津波や地震の様子を他人事ではないと感じました。昔から私は人を笑顔にすることが好きだったので「東北に笑顔を届けたい」と思っていました。結局なにもできませんでした。

しかし、大学生になってからつぼみプロジェクトに出会い、いまは少しだけ東北に笑顔を届けられている気がします。自分たちが時間をかけて作ったキャリア教育のワークを子どもたちが楽しんで行ってくれ、笑顔が見れた時に私はすごくやりがいを感じるし、この活動を通して南相馬の子どもたちに夢を届ける活動を行うことができている私はとても幸せです。

代表者	名前：大石 龍太郎 所属：早稲田大学大学院 教育学研究科1年
カテゴリ	「教育」×「復興支援」
問合せ先	tsubomi.info@roje.or.jp
団体WEBサイト等	HP: http://kyouikusaikou.jp/tsubomiproject/ Facebook: https://www.facebook.com/roje.tsubomiproject/
メンバー数	約20人
参加費用	年会費6000円
活動時期・頻度	週1回、日曜日15~18時ミーティング
年間活動	4月：新歓 5月：キックオフ（9月のスタディーツアーにむけた企画作り開始） 7月：つぼみ合宿（プロジェクト内の仲を深めるための合宿@未定） 8月：学習支援（小中学生の宿題サポート@福島orオンライン） 9月：東京スタディーツアー（福島の小・中学校で子どもたちと交流する@福島） 10月：文集づくり（スタディーツアーの振り返り） 12月：イベント 3月：イベント（福島の小・中学校で子どもたちと交流する@福島）

| 学習支援STEP UP ! |

| オンライン・新宿区NPO施設 ゆったりーの・STUDY CAMP新江古田 |



皆さんは、「教育格差」という言葉を知っていますか？これは、「生まれ育った環境により、受けることのできる教育に格差が生じてしまう」という問題のことです。私たちは、この問題に立ち向かうべく、ひとり親家庭であるなどの金銭的な事情により、塾に通いたくても通うことができない小中学生を対象に、ステップアップ塾という塾で、無料で勉強を教えています。勉強を通じて、生徒の将来を真剣に考え、生徒と先生のお互いが共に学び合うことができます。大学生だけでなく高校生や社会人などの先生もおり、幅広い交流ができます。

◆Episode :

コロンビア出身のその男子生徒と初めて出会ったとき、日本語での意思疎通は困難なことが多く、簡単な漢字も読めなかった。学校での授業は困難なことが多かっただろう。塾では漢字をはじめ日本語の勉強を粘り強く続けた。学んでいるときの彼のまなざしは、真剣そのものだった。そして約一年後、こんな言葉ももらった。

「教科書の漢字が読めるようになり漢字をはじめとして勉強が楽しく感じるようになった」

当初よりもずっと自然に会話ができるようになり、笑顔が増えたと思う。ステップアップ塾で勉強を教えることができて良かった、そう心から思える瞬間だった。今では彼と学校生活のことなどを話すのが楽しみだ。

代表者	名前：伊勢 龍介 所属：早稲田大学 教育学部3年
カテゴリ	教育
問合せ先	stepupgakusyuu@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://stepup-unesco.com/ Twitter: https://twitter.com/stepup_shinkan Blog: https://pando.life/stepupgakusyuu
メンバー数	50人
参加費用	年会費1000円（サークル維持費として）
活動時期・頻度	毎週土曜日 2部制 12:00~15:00 16:00~19:00
年間活動	4月~7月：通常塾（前期） 8月：夏季講習 9月~2月：通常塾（後期）

| 学生NGO EST |

| 日本・フィリピン |



私たち学生NGO ESTは、フィリピンで教育支援をしているサークルです！ミーティングは毎週火曜日、早稲田大学の教室あるいはzoomで行っています。例年であれば、セブから約二時間のところにあるカモテス諸島ラナオバラングイというところで、夏休みと春休みの年二回、渡航して支援を行います。「学生にできる最大の支援を」をモットーに、コロナ禍においても自分たちにもどんなことができるのか、何をしてあげられるのか、を考えながら日々真面目に楽しく取り組んでいます！

◆Episode :

ESTの最大の特徴は、支援地でホームステイをするということ。地域密着型の支援をすることで、私たちが歯磨きをすれば、普段歯磨きをしない子供たちがまねをして一緒に歯を磨く。とても小さいことだけれど、これも一つの教育支援のかたちなのです。生まれた場所によって自分の好きな勉強が、将来好きな仕事ができない子供たち。そんな子どもたちが胸を張って自らの夢を追いかける手助けをしたい。「本を読んで広い世界をみせてあげよう」、「ゴミはゴミ箱に捨てようね」。いつか壊れてしまうものではなく、代々伝わる知恵を提供していくことが、貧困を根本から解消する一番の近道なのです。

代表者	名前：柴田 拓郎 所属：早稲田大学 教育学部3年
カテゴリ	教育・国際ボランティア
問合せ先	est.2019.16th@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://pando.life/EST_ngo Facebook: https://ja-jp.facebook.com/ngoest/ Twitter: https://twitter.com/EST_ngo Instagram: https://www.instagram.com/est_waseda/
メンバー数	12人
参加費用	会費4000円
活動時期・頻度	毎週火曜日18:30～
年間活動	5月：新メンバー入会 11月：早稲田祭 3月：春渡航

| 学生応援村 |

| 東京都・佐賀県・熊本県など |



学生応援村は「地域創生」や「コミュニティの再生」を学生が幅広い地域や世代を繋ぐ架け橋となることで達成するために設立された応援村直属の学生組織です。活動の幅も非常に広く、災害者支援、障がい者支援、子どもたちからえがおのイラストを集め、松任谷由実さんの守ってあげたいにのせて世界中にえがおを届ける「77億人えがおプロジェクト」の実施など、応援村の持つ全国各地の自治体・著名人・企業とのネットワークを活用しながら活動を行っています。

◆Episode :

「傾聴ボランティア」を行ったのは2020年9月1日、防災の日。私たちの団体は発足してからまだ1か月ほどでした。

前年の豪雨被害を受けた佐賀県武雄市の方とオンラインで繋がり、以前から練習してきた「傾聴」を行いました。

そこで思い知ったことは活動の存在を認知してもらうことの難しさです。

イベントに参加してくださった方とのやり取りはうまくいきましたが、だからこそ、利用してもらわなくては、と思いました。自分たちの活動が人々に少しでも良い気持ちや結果を与えるならば。

活動の中身を練るのはもちろんのこと、私たち一人一人のメンバーがこれからの活動を「届ける」「つなげる」ことを忘れずにいようと思います。

代表者	名前：大井 晃亮 所属：早稲田大学 環境・エネルギー研究科M2年
カテゴリ	地域活性化・災害支援
問合せ先	contact@gakuseiouen-mura.com
団体WEBサイト等	HP: https://gakuseiouen-mura.com/ Facebook: https://www.facebook.com/gakuseiouenmura/ Twitter: https://twitter.com/Gakuseiouenmura Instagram: https://www.instagram.com/gakuseiouenmura/
メンバー数	21人
参加費用	なし
活動時期・頻度	通年・1企画あたり週1回程度(複数企画掛け持ち可能)
年間活動	4,5月：新歓、障がい者支援プロジェクト 6,7月：77億人えがおプロジェクト 8,9月：77億人えがおプロジェクト、災害支援 10,11月：水害支援 12,1月：新企画立案 2,3月：東北災害支援

| 助走の場・雲 |

| 新宿区下落合 |



私たち、「助走の場・雲」は不登校や引きこもりなどの生きづらさを抱える若者のための居場所支援である「フリースペース」の開放と、子どもを対象とした学習支援の二つを活動の柱としています。フリースペースでは主に雑談やゲームをしたり、外で体を動かしたりなど、何気ない時を過ごしながら、利用者の方が生きづらさを少しでも解消し、次のステップを踏み出せるようお手伝いしています。しかしながら、「生きづらさ」といっても千差万別です。その答えを探しながらスタッフ、利用者共に助走していく“育ちあいの場”でありたい、それが私たちのモットーです。

◆ Episode :

私が「助走の場・雲」で活動を始めた大学一年時、不登校状態であった高校生の少年と出会いました。当時の彼は大学への進学希望を持ちながら、入れる大学はあるのだろうか、入っても上手くやっていけるのだろうか、という不安を抱えていました。実際にオープンキャンパスへ一緒に足を運んでも、大学の雰囲気におおされてすぐに退出してしまう、そんな状態でした。しかしながら、彼の悩みに真摯に向き合い勇気づけていった結果、第一志望の大学に無事合格することができました。今では大学生活を楽しむ語ってくれる彼の笑顔を見るたび、彼と最後まで伴走できてよかったなと実感します。そして同時に自分にとっても「雲」は居場所になっているのだと気付かされました。

代表者	名前：山根 正暉 所属：早稲田大学 教育学部4年
カテゴリ	教育・若者支援
問合せ先	josounobakumo@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://josounobakumo.wixsite.com/freespace Blog: https://ameblo.jp/run-up-wolken/ Twitter: https://twitter.com/freespace_kumo?lang=ja
メンバー数	10人
参加費用	なし
活動時期・頻度	週1~2回
年間活動	[定期]毎週日曜日のフリースペース開放、平日の学習支援

| 難民交流プロジェクト |

| 早稲田大学 高田馬場 品川 |



難民交流プロジェクトでは、日本で暮らす難民の方々との交流しながら、より多くの人に難民問題について知ってもらえるよう活動を行っています！例えば、UNHCRの学校パートナーとして難民に関する映画を上映したり、学食で難民の故郷の味を提供したり、難民キャンプに送る衣料品を学内で集めたり、、、人数が少ないため、やりたいと思ったことを実現しやすいサークルです！

また、定期的に難民の方とのフットサル交流も行っています。※運動が不得意な方でも子供たちと交流できるので問題ないです！

日本で出来る国際貢献、やってみませんか？

◆ Episode :

私自身このサークルに入る以前は、難民についての知識は全くなく、そもそも日本に難民がいること自体知りませんでした。活動を続けるうちに、この「多くの人が問題について知らない」という状態が難民の方が暮らしにくい社会につながってしまっていると感じています。確かに私たちに難民問題の原因を解決することはできません。しかし、難民に認定されず収容されている方と面会をしたときに、「あなたが会いに来てくれるだけで嬉しい」と言ってもらいました。多くの方が現状について知り、難民の方々に寄り添う姿勢を持つことで、少しずつ社会は変わっていくと信じています。

代表者	名前：片寄 太智 所属：早稲田大学 政治経済学部4年
カテゴリ	人権・国際・地域交流
問合せ先	refugee.futsal.committee@gmail.com
団体WEBサイト等	Twitter, Instagram: nanmin_pj Facebook: https://www.facebook.com/refugees.futsal
メンバー数	7人
参加費用	なし（イベント開催地までの交通費、保険料などは自己負担となります。）
活動時期・頻度	週一回ミーティング、年4~5回のイベント
年間活動	主なイベント（年によって開催月は変動） 6月 世界難民の日記念フットサル大会 9月 Meal For Refugees 10月 衣料品回収 11月 難民映画祭 定例活動：ミーティング、フットサル交流、入国管理センター訪問

| BAM部 |

| 東京都・埼玉県・群馬県など |



BAM部は早稲田大学のメンバーを中心に活動を行う、地方創生インカレサークルです。現在は地方で大きな社会課題となっている「放置竹林問題」に対処するため、竹林整備を学生の力で、伐採した竹の活用を通して持続可能なサイクルで放置竹林問題の解決を目指しています。今後は竹を利用した商品の開発やマーケティング、子どもたちへ竹の工作教室を通じた環境教育にも力を入れたいと考えています。また、放置竹林問題の他にも空き家、過疎化、農業に関する問題など地方の様々な課題にも活動の幅を広げたいと考えています。

◆ Episode :

私が地方に「放置竹林問題」というものが存在することを知ったのはBAM部の活動がきっかけでした。それまでは地方の問題と言えば高齢化や空き家の問題などしか頭には思い浮かびませんが、実際に地域の方とお話をすると、手入れされなくなってしまった竹が道路、家屋に倒れてきてしまったり、畑や家の敷地内に竹が侵入してくるなど、とても身近なところに竹の被害（竹害）があることが分かりました。そして、竹林整備を行ったときは道行く人からも「ありがとう」「頑張ってるね」と多くの声を頂くことができ、本当に地域のために活動することができているのだなと実感することが出来ました。

代表者	名前：大井 晃亮 所属：早稲田大学 環境・エネルギー研究科M2年
カテゴリ	地域活性化・環境・農業・地域交流
問合せ先	bamboo.waseda@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://bamboo-waseda.com/ Facebook: https://www.facebook.com/BAM%E9%83%A8-106205987861624 Twitter: https://twitter.com/bamboo_waseda Instagram: https://www.instagram.com/bamboo_waseda/
メンバー数	20人
参加費用	なし
活動時期・頻度	通年・月2-4回程度（竹林伐採・直売所への出店）
年間活動	4,5月：新歓、たけのこパーティ、竹林伐採、直売所出店 6,7月：竹林伐採 8,9月：直売所出店 10,11月：竹林伐採、直売所出店、商品開発 12,1月：竹林伐採、竹製品制作 2,3月：竹林伐採、直売所出店

| 無国籍ネットワークユース |

| 早稲田大学 早稲田キャンパス |



新型コロナウイルスの影響下で思うように活動ができなかった中でしたが、オンラインセミナーとして、NPO法人無国籍ネットワークの代表であり、国際教養学部で教鞭を執られている陳天璽教授のお話を伺いました。無国籍とはどのような状態なのか、無国籍になることでどのような不都合や影響があるのか、という導入から始まり、陳教授の経験されてきた無国籍者としてのエピソードやその思いを聴くことのできたセミナーでした。なかなかイメージの付きにくい話題ですが、実際にお話を伺うことでより一層無国籍についての知識を深められました。コロナ禍であっても、このように無国籍について周知していくことができるのだと実感しました。

◆ Episode :

ロヒンギャ問題に関心はありましたが自分に何ができるのかを考えることはありませんでした。ロヒンギャ難民として認定された方の講演会では、差別を受けるロヒンギャの人たちは人権を守られず、国民、難民とも認定されない状況に置かれても尚国際社会は目を向けないことを訴えており、その中で彼は「日本も動いて欲しい」と言いました。私たち日本国民が動くことによって居場所を失った人々を救うことができると知りました。「無国籍」という国際問題に対して今の自分の知識と力でどう問題に立ち向かうか、そして自分ができることはないというマインドセットを捨てて、これから貢献しようと考えています。

代表者	名前：小川 いぶき 所属：早稲田大学 政治経済学部 3年
カテゴリ	人権、国際、地域交流
問合せ先	stateless.youth@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: http://stateless-network.com/ Facebook: http://www.facebook.com/statelessnetworkyouth/ Twitter: https://twitter.com/sny_waseda?s=21 Instagram: http://www.instagram.com/statelessnetwork/?hl=ja
メンバー数	約15人
参加費用	なし
活動時期・頻度	年間を通して月2回のミーティング、年数回のイベント
年間活動	3月：第1回オンラインセミナー開催 4月：新歓活動・第2回オンラインセミナー開催 5月：第3回オンラインセミナー開催 6月：写真展開催 11月：早稲田祭出展 3月：マレーシア等海外フィールドワーク そのほか不定期で勉強会開催

| 早稲田大学 似島ワークキャンプ |

| 早稲田大学学生会館E207 |



本サークルは、70年ほどの歴史のある古いサークルで、広島にある似島学園(児童養護施設)と交流を続けています。キャンプでは、子供達と1週間ほど生活を共にし、用意したレクリエーションと一緒に遊びます。キャンプ以外でも、定期的に手作りのサークル誌やDVDを子供達に送ったり、クリスマスや卒園のプレゼントを送ったりしています。

◆ Episode :

似島学園は家と学校が並んで建つ大規模な施設である上、小さな島にあるため、子供たちが施設の外に出ることはほとんどありません。そんな子供達にとって、「年に2回だけ来てくれる東京の大学生」という私達の訪問は嬉しいようで、とても歓迎してくれます。普段はできない料理や花火などの遊びも、私達がいることで忙しい先生達に代わって行うことができます。サークル誌では、大学生の何気ない日常を伝えたり、東京の名所を教えたり、私達にしかできないことを常に考えています。

代表者	名前：岡 悠悟 所属：早稲田大学 教育学部
カテゴリ	子ども
問合せ先	nwc2010@yahoo.co.jp
団体WEBサイト等	Twitter: @NwcWaseda
メンバー数	5人
参加費用	年会費7000円
活動時期・頻度	週1
年間活動	春休み(3月上旬) 春キャンプ 3月下旬 卒園プレゼント作り 夏休み(8月上旬) 夏キャンプ クリスマス クリスマスプレゼント作り その他 定期的にサークル誌の作成

| 早稲田農業サークルこだま |

| オンライン・早稲田大学早稲田キャンパス・埼玉県本庄児玉地域 |



私たち「早稲田農業サークルこだま」は埼玉県本庄児玉地域を拠点に地元のJAと連携して活動しています。具体的には、農業に関する勉強会や地域の農産物の地元や東京でのPR活動(地元の野菜を使った食のイベントなど)、地域の農家の方々のお手伝い、マーケティングの勉強を通じた農産物直売所活性化策の提案などです。これらの活動を通して、本庄野菜の魅力発信や本庄児玉地域の方々との交流、メンバーの農業を含む地域についての知識向上を目指しています。

◆ Episode :

多くの方が都市部に住む現代において、人々の食を支える農業は多くを知られることなく営まれています。このサークルに入会して以来、埼玉県本庄市周辺をはじめとする各地域の農家さんとの交流を通して、農業という特殊な産業のあり方や、時代に合わせた販売の方法を考える中で、地方や農業の魅力というものを知ることができました。現地に行き身体を動かしながら考えることはとても楽しく、サークルの雰囲気もとてもいいです。普段体験できないような世界を知りたい人にぜひ入会していただきたいと思います。

代表者	名前：井出 智也 所属：早稲田大学 社会科学部 3年
カテゴリ	農業・地域交流
問合せ先	agrikodama.waseda@gmail.com
団体WEBサイト等	HP: https://www.waseda-kodama.com Twitter: waseda_kodama Instagram: waseda_kodama
メンバー数	53人
参加費用	入会費及び年会費無し
活動時期・頻度	オンラインで週2回、本庄には月1回ほど訪問、その他随時企画を実施
年間活動	通年：本庄訪問(月1回) 農家さんのお手伝い(本庄にて) 部門別ミーティング(週2-3) 4月：新歓イベント 6月：食品開発・本庄野菜PRイベント 9月-12月：直売所視察 12月：直売所販売方策提案会 2月：本庄合宿 不定期：旅行・遊び企画

まずはWEBで募集情報を集めよう！
<https://www.waseda.jp/inst/wavoc/>

